

# 二神系譜研究会速報

NO・28

2007年(平成19)5月22日(火)  
編集・発行/二神系譜研究会常任理事会  
愛媛県松山市光洋台7-34  
TEL・FAX 089(994)2542

## 二神系譜研究会第8回総会が開かれる

### 記念講演 「文禄の役と二神氏」 愛大、内田先生が講演

二神系譜研究会が結成されて第8回目となる総会が、3年振りに北条ふるさと館で、4月29日午前10時からひらかれました。この総会には全国各地から集まった二神氏の各系譜の皆さん、来賓の方々合わせて28名が出席しました。

総会は、二神俊一副会長の挨拶で始まり、初めに二神浩三会長が挨拶に立ち「この会が発足してから早くも8年目になろうとしています。昨年は我がルーツの二神島で、初めての総会を開催し、全国から多数の会員のご参加を頂きましたが、あれからもう1年が経過しました。一昨年の総会は、二神氏祖先の地、豊田町で行ってききましたので、3年振りに北条に帰ってきました」と述べ続いて「昨夜は下難波のリゾートビーチ、コスタ北条・ホテルコスタで前夜祭が開催され約20名の方々が出席され、交流を深めました。また、近年北条に居を移された歴史家の愛媛大学教授内田九州男先生にもご出席いただき楽しいひとときを送らせて頂きました。そして今日は“文禄の役と二神氏”のテーマで先生にご講演を頂くことにしていますのでご期待ください。記念講演のあと、総会に移り討論を頂いた後に昼食交流会を開き、その後はご希望によって、風早の二神氏に関わる史跡を訪ねる予定です。どうか熱心な御討議によって、会の発展のためのご意見を頂きますようお願いいたします。会員も老化が進み、亡くなる方が増えてきましたが若い方々の当会へのご加入を頂くことをお願いしましてご挨拶といたします」と述べました。



### 二神通範夫妻の五輪墓の刻印を読んだときの深い感動

#### 竹田覚風早歴史文化研究会会長が来賓挨拶

次に来賓として出席された竹田覚風早歴史文化研究会会長は「二神会の皆様との交流から七年が経過しましたが今でも鮮やかに記憶に蘇るのは平成12年の3月の寒い夜に片山二神氏墓地で二神通範夫妻の五輪墓の刻印を読んだ時のことです夫人の没年月日である慶安4年6月10日と仙窓理心大姉の戒名。又通範の没年月日元和2年7月15日と戒名の樹枝道種居士が読みとれた時の深い感動は今も忘れません。二神会の皆様による二神通範夫妻の追善供養絵図の発見時も同じ感動を味われたと聞いておりますが、その後も一心庵での二神氏墓地調査や常竹二神氏墓石調査などにも関わらせていただきました。これらのことは会報で報告されておりますが、幕末風早俳壇の重鎮二神栗舎

